

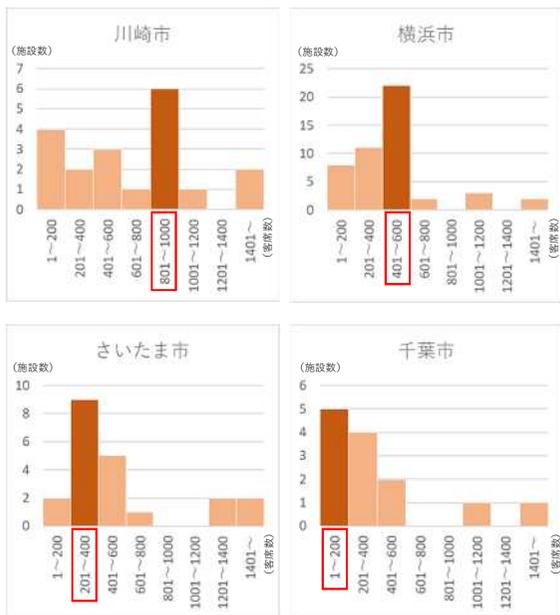
1 検討の背景

- 本市が保有する公共建築物については、現時点で築30年以上のものが約5割を占めており、現状の施設を保有することを前提とすると10年後には7割を超えることから、施設の機能低下や修繕費用の増大など老朽化に伴う問題が懸念される。
- 本市の人口は、令和12(2030)年まで増加することが見込まれ、人口増加により多様化・増大化する市民ニーズに的確に対応しつつ、その後の人口減少への転換や少子高齢化の更なる進展を見据えた対応を図っていく必要がある。
- 上記に加えて、新型コロナウイルス感染症の影響による景気の落込みや、ふるさと納税による市税の減収など、これまでにない厳しい財政環境が続くことが見込まれているため、これまでと同様の規模・形態で施設を更新していくことが非常に困難となることが予想される。
- ホールについても築30年以上となる施設が多く、施設・設備の老朽化やバリアフリーへの対応など、現在の利用者ニーズ等に対応した機能の提供が求められている。
- 公共施設はそれぞれ役割や目的をもって整備されているが、施設の設置・利用状況などを踏まえ、更なる施設利用の機会を提供することが可能となるよう、庁内横断的にホール機能を有する施設の適正配置等について検討を行う必要がある。

2 川崎市の公共ホールの分布状況など

- 本市においては801~1,000席規模のホールが最も多く設置されている。
- 横浜市においては401~600席規模、さいたま市においては201~400席規模、千葉市においては、200席以下の規模のホールが最も多く設置されている。

表 各都市の公共ホールの分布状況



検討対象施設

検討対象施設は、本市が所有する(貸付を含む)施設のうち、舞台機能(舞台、吊物機構、照明設備、音響設備)を有したホールとする。

なお、周辺施設との役割分担を念頭に、適正配置等について検討することから、音楽やコンベンション機能など用途を限定したホールや、突出した規模のホールは対象外とする。

施設名	客席形式	客席数	建築年	検討対象
労働会館	固定席 (一部可動)	762席	1981年	○
スポーツ・文化総合センター	固定席	2,013席	2017年	
川崎能楽堂	固定席	148席	1986年	
産業振興会館	可動席	478席	1988年	○
幸市民館	固定席	840席	1980年	○
ラゾーナ川崎プラザソル	可動席	200席	2006年	○
ミューザ川崎シンフォニーホール	固定席	1,997席	2003年	
総合自治会館	平土間	200席	2020年	○
国際交流センター	可動席	264席	1995年	○
中原市民館	可動席	375席	2009年	○
総合福祉センター	固定席	923席	1990年	○
コンベンションホール	平土間	960席	2017年	
川崎市民プラザ	固定席	489席	1979年	○
高津市民館	可動席	600席	1997年	○
男女共同参画センター	固定席	850席	1974年	○
宮前市民館	固定席	910席	1985年	○
多摩市民館	固定席	908席	1997年	○
麻生市民館	固定席	1,010席	1985年	○
アートセンター	固定席	195席	2007年	○

3 川崎市のホールの利用状況

(1) 施設の利用率

- 国公立施設のホール利用率の平均値\*は、1,000席以上は63.7%、500席以上1,000席未満は55.0%、500席未満は56.6%で、これらと比較すると、市内のホールの利用率は高いことが分かる。

\*「令和元年度劇場、音楽堂等の活動状況に関する調査報告書」より(日別利用率)

表 施設の利用率(平成30年度)

施設名	利用率	客席形式	客席数
労働会館	56.5%	固定席 (一部可動)	762席
産業振興会館	76.5%	可動席	478席
幸市民館	62.5%	固定席	840席
ラゾーナ川崎プラザソル	94.1%	可動席	200席
国際交流センター	72.4%	可動席	264席
中原市民館	85.0%	可動席	375席
総合福祉センター	82.2%	固定席	923席
川崎市民プラザ	34.1%	固定席	489席
高津市民館	72.1%	可動席	600席
男女共同参画センター	85.6%	固定席	850席
宮前市民館	76.0%	固定席	910席
多摩市民館	82.9%	固定席	908席
麻生市民館	81.3%	固定席	1,010席
アートセンター	64.4%	固定席	195席

\*「教育文化会館・市民館活動報告書」、「指定管理者制度活用事業評価シート」及び「事業報告書」による(区分稼働率)。  
\* 労働会館は施設の統計資料による。  
\* 総合自治会館は旧施設のため除く。

(2) 客席の利用状況

- ほとんどの施設で客席数の5割以下の利用が大半を占めており、満席感を得られる8割超の利用は、プラザソル、総合福祉センター、高津市民館、アートセンターを除き、1割前後であった。

表 各ホール客席数に対する利用者数の割合(占席率)



\*「ふれあいネット」の申請データによる。  
\*「予定人数」及び「実績人数」両方に入力のある場合、「実績人数」を採用している。「予定人数」のみ入力がある場合は「予定人数」を採用している。  
\* 総合自治会館は旧施設のため除く。

(3) 利用用途

- ほとんどの施設が「会議」「楽器演奏・合唱」に集中しているが、中原市民館は「社交ダンス」の利用が3割を超えている。
- 運営者ヒアリングでは、複数館で吹奏楽やオーケストラ、和太鼓等の練習利用がかなり多いという回答が見られた。
- 舞台や客席を備えるホールである必要性のない活動での使用が多いことが分かった。

表 各ホールの利用用途(平成30年度)

	運動系	バレエ	社交ダンス	ジャズダンス	その他ダンス	日本舞踊	会議	楽器演奏・合唱	音楽鑑賞	映画会	演劇講習	演劇	美術展・作品展	懇話会	その他	不明
労働会館	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%	2.2%	3.7%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	85.8%
産業振興会館	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%	0.0%	51.9%	18.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	29.0%
幸市民館	0.0%	2.8%	0.0%	2.8%	0.0%	0.7%	25.7%	49.7%	0.0%	0.7%	6.9%	1.7%	0.0%	0.0%	8.7%	0.3%
ラゾーナ川崎プラザソル	0.0%	0.3%	0.0%	0.0%	8.9%	0.0%	3.0%	9.2%	0.3%	1.0%	5.2%	56.1%	0.0%	0.0%	16.1%	0.0%
国際交流センター	1.2%	28.2%	0.0%	10.3%	0.2%	0.2%	20.6%	35.5%	0.0%	1.0%	0.6%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	1.9%
中原市民館	3.1%	0.0%	37.6%	2.8%	0.3%	0.6%	22.5%	31.1%	0.3%	0.0%	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
総合福祉センター	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	55.2%	25.8%	0.0%	2.6%	7.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.6%
川崎市民プラザ	0.0%	5.7%	0.0%	7.5%	0.0%	1.9%	6.6%	50.9%	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.7%	19.8%
高津市民館	0.3%	0.5%	0.0%	0.8%	0.0%	0.8%	49.6%	43.2%	0.3%	2.4%	0.5%	0.8%	0.0%	0.0%	0.8%	0.0%
男女共同参画センター	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	2.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	97.0%
宮前市民館	0.0%	12.9%	0.0%	6.1%	0.0%	0.0%	24.2%	51.3%	0.0%	2.6%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	2.3%	0.0%
多摩市民館	1.4%	17.9%	0.0%	2.6%	0.0%	2.6%	22.8%	43.9%	0.0%	0.6%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
麻生市民館	0.0%	5.1%	0.0%	2.8%	0.0%	0.9%	32.4%	52.3%	0.0%	1.4%	2.8%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%
アートセンター	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	6.9%	0.0%	0.0%	6.3%	1.3%	0.0%	4.4%	66.7%	0.0%	0.0%	13.8%	0.0%

\*「ふれあいネット」の申請データにおける「利用目的」による。プラザソル、アートセンターは施設の集計資料による。  
\* 労働会館、男女共同参画センターはジャンルの入力件数が少なかったため、上位ジャンルをマークしていない。  
\* プラザソルは商業目的の展示会、記者発表にも利用されているが、「ふれあいネット」上の「利用目的」に当該利用の分類がないため、「その他」に分類している。  
\* 総合自治会館は旧施設のため除く。

# ホール機能を有する施設の適正配置に向けた検討の進め方（案）

## 4 各ホール施設の現状と課題

### (1) 施設・設備の老朽化

- ・ 築30年以上を経過している施設が多く、空調等の一般設備、舞台機構・音響・照明などの舞台設備の大規模改修が行われていない施設も多い。

### (2) 利用者ニーズの変化等への対応

- ・ 不特定多数の市民利用の多い施設でありながら、高経年のため、車いす使用者用の客席や多目的トイレの設置等のバリアフリー化を進める必要がある施設が多い。
- ・ 舞台や舞台袖の面積が不足している施設や、楽屋の数や面積が不足している施設、舞台と楽屋が同じ階にないなど動線に課題のある施設がある。

### (3) 客席数と利用状況の不一致

- ・ 他都市のホールの設置状況と比較して市内には大規模なホールが多い。また、客席数の5割以下での利用が大半を占めており、客席数と利用状況の不一致が生じている。
- ・ また、利用団体からは使いやすい小～中規模のホールを望む声がある。

客席の利用者が少なかったり、練習利用であったりしても、空調や照明は利用するため、ホールの規模が大きいかほど、インシャルコストだけでなく、ランニングコストも増大する。また、設備機器等の修繕・更新にかかる負担も大きくなる。

## 5 取組の方向性について

### 基本的な方向性

市域をいくつかのエリアに分けて利用状況等の分析を進め、エリアごとの適正配置に向けて、利用ニーズに応じたホールの規模・機能等について検討する。

大規模改修、改築、移転などのタイミングを捉え、適正配置等に向けた効率的かつ効果的な取組を推進する。

### (1) 利用状況等を踏まえた規模・機能等の設定

- ・ 各ホールの利用状況や設置目的を踏まえ、客席規模、利用用途、舞台サイズ、楽屋等の諸室の仕様等を検証する。
- ・ 市域をいくつかのエリアに分けて、エリアごとに、多様な利用ニーズ（規模・機能・仕様等）に対応したホールを配置することで、市民ニーズに的確に対応するとともに、持続可能な施設運営につなげるよう検討する。
- ・ ホールの利用用途のうち、ホール以外の施設で実施可能な用途もあることから、ホール以外の既存施設の有効活用の視点を持って検討する。

### (2) 適正配置等に向けた効率的かつ効果的な取組の推進

- ・ 大規模改修や改築等のタイミングに合わせ、その事業内容に応じて、各ホールの適正配置やバリアフリー化などに向けた取組を推進する。
- ・ 施設の更新等を行う際は、民間活力の導入を視野に入れた整備手法や管理運営手法について検討を行う。

## 6 具体的な進め方について

### STEP1 現状把握

- ・ 利用状況等について詳細に調査するとともに、躯体や配管の劣化状況、バリアフリー適合状況など、必要な調査を実施する。

### STEP2 利用状況に応じた規模・機能等の整理

- ・ 利用用途ごとに必要な規模、機能等を整理し、利用用途に応じたホールの標準の仕様について検討を行う。
- ・ 各ホールの利用状況（占席率・利用用途）や設置目的を踏まえ、現状の規模・機能等が適切であるか検証を行う。
- ・ 適切でない場合は、利用状況や設置目的に応じたホールの最適な規模・機能等を整理する。

### STEP3 適正配置の方向性の検討

- ・ 現在のホールの分布状況、鉄道・バス等の交通ネットワークなどを踏まえ、市域をいくつかに分けるエリアの設定について検討を行う。
- ・ 利用状況に応じた最適な規模・機能等のホールを地図上にプロットし、エリア内のホールの規模・機能等について、偏りの有無などを確認する。
- ・ エリア内で、ホールに対する利用ニーズとホールの規模・機能等が適合した状態を「適正配置」と捉え、周辺のホールとの役割分担やホール以外の既存施設の有効活用の視点も踏まえつつ、適正配置の方向性について検討する。

### STEP4 適正配置に向けた取組内容の検討

- ・ STEP3の検討結果を踏まえ、ホールの形式、客席規模、利用用途、舞台サイズ、舞台設備の機能、楽屋等の諸室の仕様などについて、各ホールの適正配置に向けた取組を検討する。
- ・ 大規模改修や改築等の時期を勘案しながら、概ね10年間における取組内容を検討する。

### STEP5 適正配置に向けた取組の推進

- ・ STEP4の検討結果に基づき、大規模改修や改築等のタイミングに合わせ、各ホールの整備、統廃合や複合化など、適正配置に向けた効率的かつ効果的な取組を推進する。
- ・ 大規模改修時には、舞台設備などについて、施設の特性に合わせた適切な機能となるよう改修を行うとともに、車いす使用者の客席の設置や舞台まわりのバリアフリー化工事等についても、可能な限り実施する。
- ・ 各ホールの整備等の取組による効果を検証するとともに、上位計画や社会情勢の変化に対応しながら、ホールの適正配置に向けた方向性や取組等について、適切なタイミングで見直しを検討する。

## 7 取組スケジュール（案）

